

# 研究における患者・市民参画

*Engagement in Research*

認定NPO法人がんサポートコミュニティ

大井賢一

# 研究における患者・市民参画の必要性



## 世界保健機関(World Health Organization: WHO)

アルマアタ宣言(1978)は

**「人々は、医療の計画と実施に個人的および集団的に参加する権利と義務がある。」**  
という明確な声明を持つ世界最初の国際政策文書である。

World Health Organization (1978). Declaration of Alma-Ata. International Conference on Primary Health Care, USSR.



英国 (2006)

国立医療・社会福祉研究所(National Institute for Health and Care Research: NIHR)設立

**NIHR** | National Institute for  
Health and Care Research

国民保健サービス(National Health Service: NHS)・大学・地方自治体などの研究資金の提供者、患者および市民と協力して、国民の健康と幸福を改善し経済成長を促進する世界をリードする医療・社会福祉研究に資金を提供



米国 (2010)

患者中心アウトカム研究所(PCORI: Patient-Centered Outcomes Research Institute)設立

**pcori** | PATIENT-CENTERED OUTCOMES  
RESEARCH INSTITUTE

国民が十分な情報に基づいて医療に関する意思決定を行えるよう、患者および介護者、彼らを代表する組織を含む幅広い市民の利害関係者(Stakeholder)によって指導された信頼性の高い証拠に基づいた情報を提供し得る研究に資金を提供



# 研究における市民参画

## Public Involvement in Research



英国

**NIHR** | National Institute for  
Health and Care Research

1991 国民保健サービス研究開発プログラム (NHS Research & Development programme)

2006 国立医療研究所 (National Institute for Health Research: NIHR) 設立

2022 国立医療・社会福祉研究所 (National Institute for Health and Care Research: NIHR)に改名

(3) 市民委員会構成員:どの研究に資金提供または優先度を与えるべきかを決める

(2) 研究審査員:どのような研究が行われるか/どのように実施されるか/結果がどのように共有され、実際に適用されるかを審査する

(1) 研究広報大使:医療・社会福祉研究に対する市民の意識を高め、家族・友人・知人などの人たちに参加を促す

研究における市民参画とは、研究が市民に「向けて (to)」、市民に「ついて (about)」または市民の「ために (for)」ではなく、**市民と「ともに (with)」**または**市民に「よって (by)」**実施されることである。

※市民には、①患者および潜在的な患者、②介護者、③医療・社会福祉に関わる人、④医療・社会福祉に関わる人を代表する組織の人が含まれる。



# 研究における市民参画：(1) 研究広報大使(ボランティア)

## Public Involvement in Research: (1) Research Champions

### 研究広報大使とは・・・

◎市民の研究への参加について十分な情報に基づいて選択ができるよう支援する

◎市民が希望する場合は誰もが研究に参加できるように支援する

興味・技能・時間

患者  
介護者  
被験者の経験者  
を含む市民

地域の  
研究広報大使リード



医療・社会福祉の研究に対する意識を高め、家族・友人・知人などの人たちに参加を促す  
(例) テレビ・ラジオ・科学雑誌の取材を受け、研究に対する市民の意識を高める



医療・社会福祉の研究について患者や地域のグループと話す  
(例) 地域の学校と協力して、地域の病院が活用する研究に関するポスターを作成する



Be Part of Research ウェブサイト等を通じ、市民が参加できる研究について知るのを助ける  
(例) オンラインの研究に関する学習教材における平等性と多様性の開発を支援する



国際治験デーおよび健康啓発デーを記念する地域活動に参加する  
(例) 地域のイベントで講演する

### Be Part of Research ウェブサイト

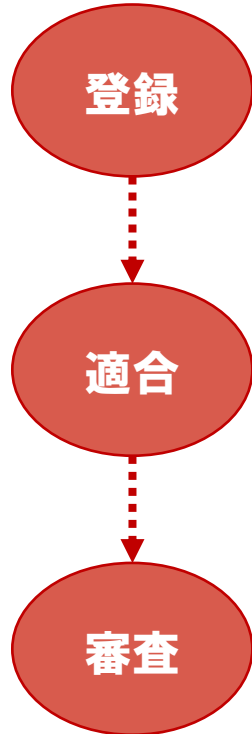
市民が研究とは何か、研究に参加することの意味を理解するのに役立つオンラインサービスで、英国で現在どのような研究が行われているかを知ることができる。

- ①市民の居住地近くで現在行われている研究を検索できる。
- ②検索結果を市民の年齢や健康状態で評価判別し選択的に排除できる。
- ③市民の研究への参加に向けて詳細を確認できる。



# 研究における市民参画：(2) 研究審査員(ボランティア)

## Public Involvement in Research: (2) Reviewer



**審査のポイントを理解する、  
審査を正しく実施するためのガイダンス**

- NIHR 有効性とメカニズム評価 (EME)
- NIHR 医療技術評価 (HTA)
- NIHR 医療・社会福祉提供研究 (HSDR)
- NIHR 公衆衛生研究 (PHR)

患者  
介護者  
被験者の経験者  
を含む市民

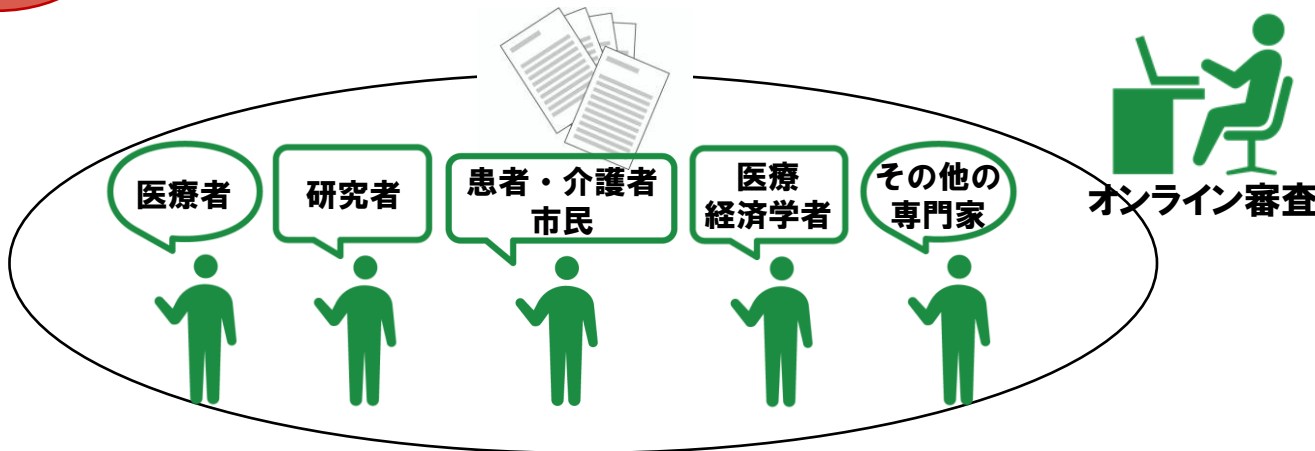


**研究資金申請の審査に関する  
市民向け双方向性トレーニングコース**

- 要素1：NIHRと患者・市民参画(PPI)に関する知識
- 要素2：市民審査の役割と有用な技能
- 要素3：患者・市民の視点から研究文書を審査する方法

※所要時間は各要素1~2時間  
最後にダウンロードできる修了証明書が発行される

**研究資金申請の審査プロセス**



- ◎研究計画と患者・介護者・市民の期待や要望との一致
- ◎自宅で研究計画を審査してオンラインで意見を送信

※研究審査員への感謝の気持ちを表して  
氏名を毎年の研究審査員リストに掲載する





# 研究における市民参画：(3) 市民委員会構成員

## Public Involvement in Research: (3) Public Committee Member

### 募集

- ・ 時期：毎年春
- ・ 対象：英国全土の18～40歳までの者および少数民族出身者

### 申請

- ・ 一度に一つの委員会のみ申請可
- ・ 以前務めた委員会には申請不可

### 選考

- ・ 書類選考：必要な技能・専門知識・委員会と申請者の知識と経験との間の最適一致
- ・ オンラインまたは電話による面接

### 採用

- ・ 報酬＋諸経費（交通費・飲食費・宿泊費・育児介護費・個人秘書費・郵送費・印刷費など）
- ・ 任期2年（2年間の延長可）

### 研修

- ・ 審査のポイントを理解する、審査を正しく実施するためのガイダンス
- ・ 研究資金申請の評価に関する市民向け双方向性トレーニングコース

### 参画

- ・ 平日1～2日間の終日、対面形式による年4回まで開催される委員会
- ・ 新委員には「バディ」を提供（志願した専門家または市民委員会委員による電話または電子メールによる非公式サポート）



市民、対象分野の専門家20人で構成



# 研究における市民参画

## Engagement in Research



米国



2010 患者保護および医療費負担適正化法(Compilation of Patient Protection and Affordable Care Act)に基づき、患者中心アウトカム研究所(PCORI: Patient-Centered Outcomes Research Institute) 設立

2019 患者保護および医療費負担適正化法(Compilation of Patient Protection and Affordable Care Act) 改正

(4) 諮問委員会構成員: 研究計画の改善・改良を支援するための推奨事項を提供、研究への資金提供と優先順位を決める

(3) 研究審査員: PCORIが資金提供し完了した研究の科学的完全性、方法論的厳密性、有用性の水準を審査する

(2) 研究評価員: PCORIに資金提供を求めて申請された研究計画書を評価する

(1) 研究広報大使: 患者、その他の利害関係者に対しPCORIの方針と使命を地域社会と共有し研究のパートナーとして参加する

研究における市民参画とは、研究の計画から実施、結果の公開まで、研究過程全体にわたる市民（患者、介護者、臨床医、その他の医療関係者）の有意義な関与である。



# 研究における市民参画の4原則

## 4 Principles of Engagement in Research

### 包括性(Inclusion)

- 市民間の多様性(Diversity)=個々の性別、年齢、人種や国籍、障がいの有無、性的指向、宗教や信条、価値観、文化などの違いを認め、互いに尊重する。

### 公正な連携(Equitable Partnerships)

- 市民間の公正性(Equity)=性別や年齢、国籍や境遇などの違いに応じた適切な支援や調整を行い、互いに協力する。

### 信頼／信頼性(Trust/Trustworthiness)

- 市民間の包括性(Inclusion)を確保し、公正な連携(Equitable Partnerships)を構築することで、研究に対する社会的な信頼が得られる。

### 説明責任／実行可能性(Accountability/Actionability)

- ①資金が付託された時、②権限が付託された時、③人体(個人／集団)に対する影響が生じる時、④社会(現在／将来)に対する影響が生じる時に説明責任(Accountability)を負う。





# 研究における市民参画：(1) 研究広報大使(ボランティア)

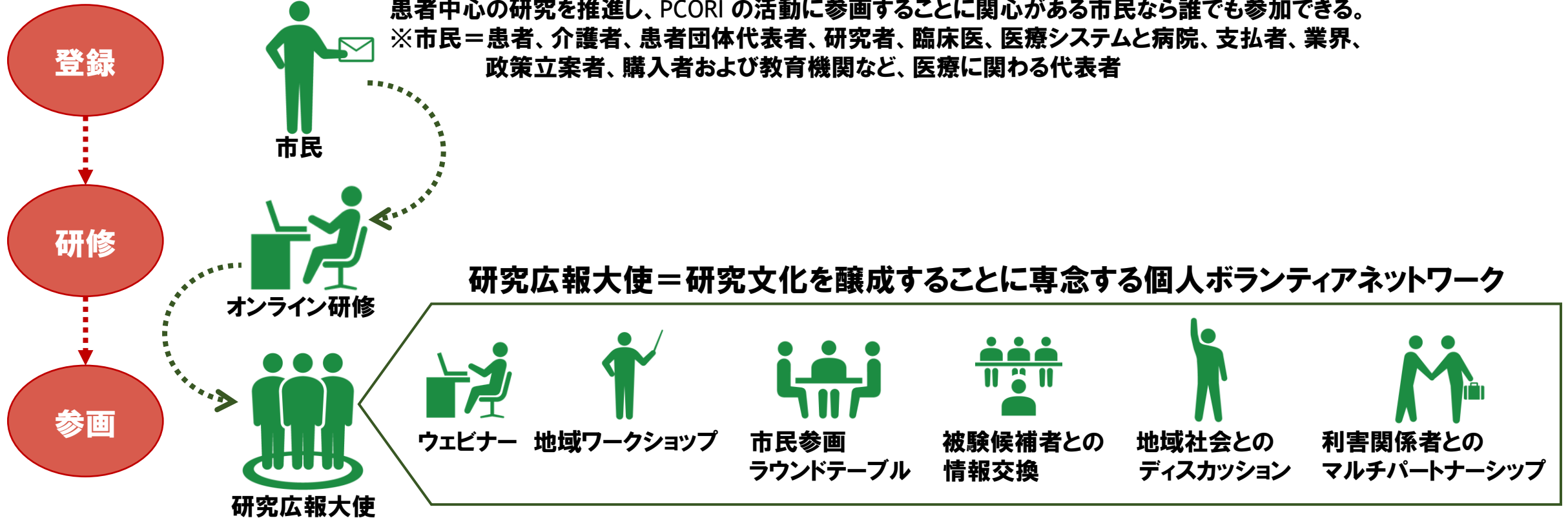
## Engagement in Research: (1) Ambassador

研究広報大使とは・・・

◎研究者と提携し、研究の意義を広報し、優先順位を獲得できるよう支援する

◎利害関係者が参画して計画される研究の重要性を地域社会や全国的に広める

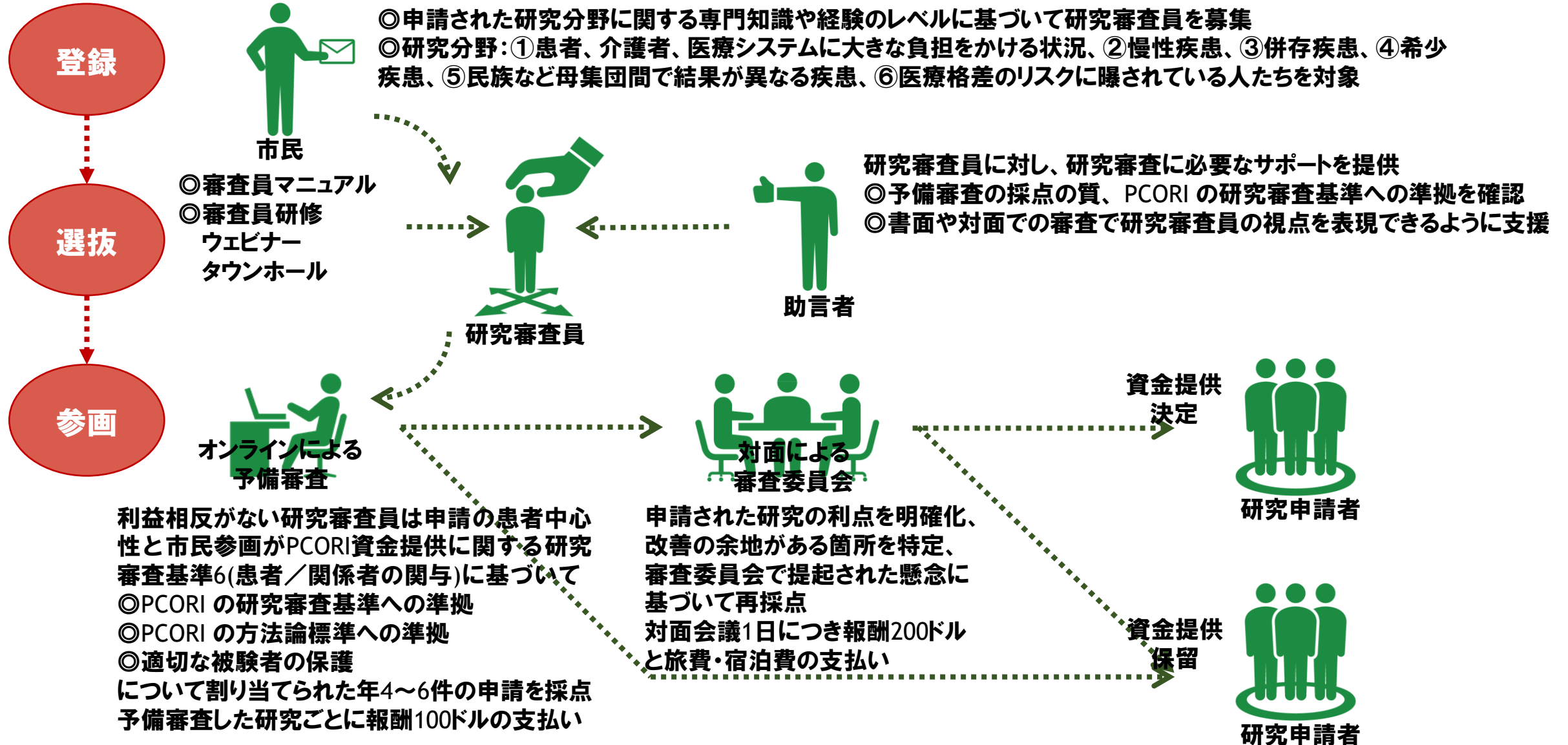
患者中心の研究を推進し、PCORI の活動に参画することに関心がある市民なら誰でも参加できる。  
※市民＝患者、介護者、患者団体代表者、研究者、臨床医、医療システムと病院、支払者、業界、政策立案者、購入者および教育機関など、医療に関わる代表者





# 研究における市民参画:(2) 研究審査員

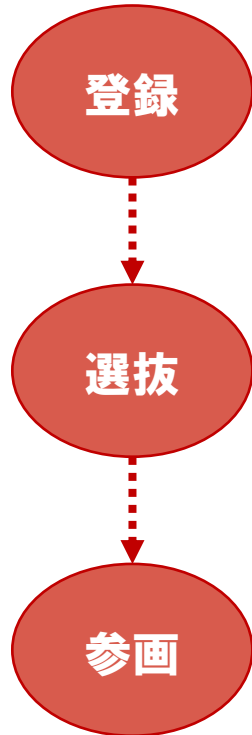
## Engagement in Research: (2) Merit Reviewer





# 研究における市民参画:(3) 研究評価員

Engagement in Research: (3) Peer Reviewer



## 研究評価員の選抜要件

- ◎研究テーマに精通した対象分野の専門家
- ◎研究方法の品質を評価できる生物統計学者およびその他の方法論者
- ◎臨床医およびその他の医療関係者 (診療所の管理者、医療機器メーカー、政策立案者など)
- ◎研究テーマに関わる患者、介護者または研究課題に個人的な利害関係を持つその他の人

研究評価のプロセス: 約 7~8 か月 (約100時間)



※研究評価員に対する感謝を表するため会計年度 (10月1日から9月30日) 中に研究評価に貢献した個人名をPCORIウェブサイトに掲載



# 研究における市民参画：(4) 諮問委員会構成員

## Engagement in Research: (4) Advisory Panels Member

### 募集

- ・時期：通常秋に開催される PCORI 年次総会からその会計年度末日まで
- ・公募：PCORIウェブサイト、購読者へのウィークリーメール、その他の方法を通じて発表

### 申請

- ・申請プロセスのウェブページから最大 2 つの委員会の構成員として優先順位を付与して申請書(個人的な声明を1つ記載)と推薦書を提出
- ・一度に 1 つの委員会でのみ活動できるが、任期満了後は他の委員会に申請できる

### 選考

- ・研究被験者、患者・市民参画、患者中心のアウトカム測定、医療サービスに関する研究、特定の医療制度改善、医療格差または研究方法論の取り組み、特定の利害関係者との機能的連携、所属団体内での経験や経歴に基づいて総合的に選考が行われる

### 採用

- ・報酬：連邦職員でない構成員個人に年間 1,500ドルを支払う。旅費・宿泊費の支払いは「旅費・宿泊費に関する規則」に従う
- ・任期2年(2年間の延長可)

### 参画

- ・年 2 ~ 4 回のハイブリッド形式の公開会議(PCORI事務所(ワシントンDC) またはバーチャルによる参画)
- ・開催日と議題は少なくとも会議 3 日前までに通知



#### 構成員の義務：

- ①研修に参加すること、②すべての会議に出席すること、③会議前に PCORI によって配布されたすべての資料を読むこと、④PCORI の方針と手順に従うこと、⑤他の構成員の意見を尊重すること。

※構成員は最終決定に意見を提供するが、最終決定に対して責任を負わない。

関連する研究課題の経験を有する臨床医、研究者、患者、科学のおよび医療サービスの研究・医療サービスの提供・科学的根拠に基づいた医療の専門家で構成(必要に応じて統合医療の専門家を含める)

臨床効果と意思決定科学に関する諮問委員会／医療サービスと格差研究に関する諮問委員会／患者参画に関する諮問委員会：12 ~24 人

臨床試験に関する諮問委員会／希少疾患に関する諮問委員会：10 ~15 人



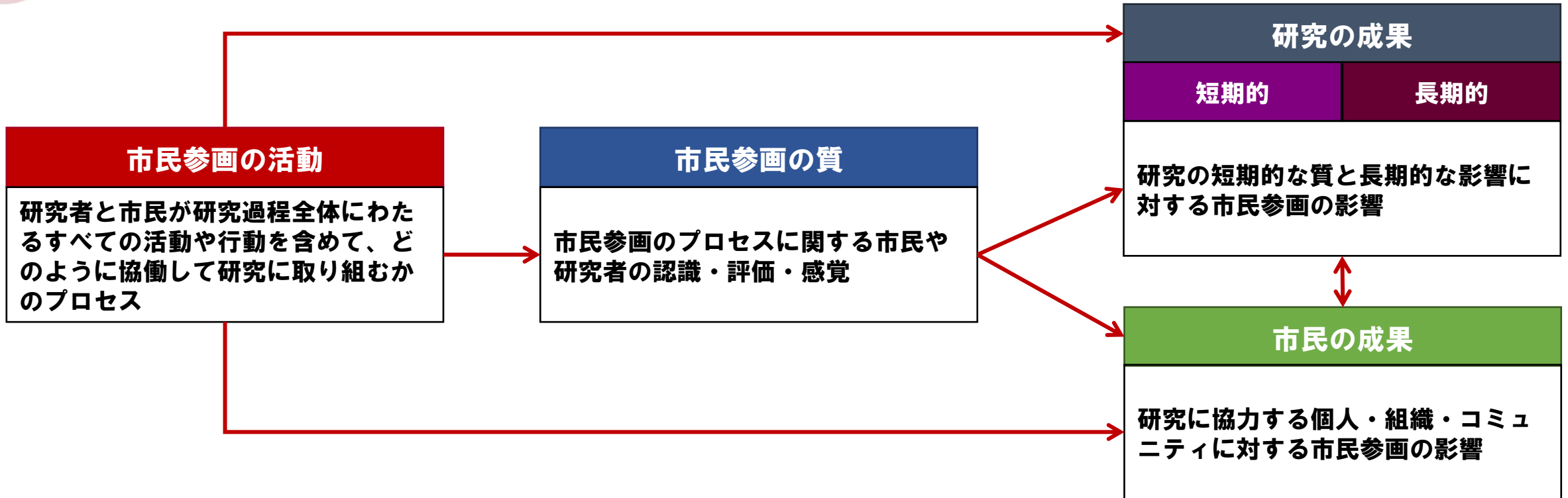
# 幅広い市民の利害関係者(Stakeholder) とは・・・

利害関係者	定義に含まれるもの	例
患者	病気やケガの現在または過去の経験がある人、患者の家族またはその他の無給介護者、患者または介護者を代表する支援団体の構成員	I型糖尿病の男性、外傷後下肢切断した若年女性、双極性障害の男性、高度ALS患者を介護する女性、化学療法を受ける妹に付き添い家事をする兄、認知症の両親を介護する兄妹、全国心臓病患者支援組織の代表者、患者エンゲージメント専門家、州の新生児健康連合、脳卒中患者支援団体の代表者
臨床医	医師、看護師、リハビリ専門家、薬剤師、精神医療提供者、補完的および代替医療提供者および臨床医にサービスを提供する専門社会を含む臨床現場における医療提供者	家庭医、病院勤務看護師、個人診療する心理学者、米国医師会、米国看護協会
研究者	研究および研究コミュニティを代表する学術団体または団体の研究者または資金提供者を含む臨床研究を行う者	私立大学の研究管理者、公立看護学校の看護研究研究者、非営利研究財団プログラムオフィサー
購入者	個々の企業だけでなく、地方、州、地域、国のビジネスグループ、企業を代表する組合、健康保険組合など従業員とその扶養家族の保険給付を購入する者	個人事業主、州商工会議所職員、健康保険組合職員
支払者	民間保険会社や公的保険会社などを代表する組織など医療システムの金融仲介者として機能する者	健康保険協同組合の最高経営責任者、大手保険会社の損害査定人、保険業界団体、保険会社BlueCross、BlueShield、MedicaidおよびMedicareの政策アナリスト
産業界	診断、機器、医薬品、電子記録システム、モバイルアプリを設計または製造する企業および先進医療技術協会などの生命科学業界を代表する組織	医療機器メーカーの最高経営責任者、診断業界団体の政府関係職員、製薬企業の研究部長
病院と医療システム	公立・私立病院や医療システム、診療所、地域保健センターなど、医療が提供される組織およびこれらの組織を代表する者	診療所管理者、公立病院幹部、統合医療制度の研究部長、米国病院協会または米国の必須病院
政策立案者	連邦政府・州政府・地方自治体の職員、連邦政府・州政府・地方自治体の政策立案者を代表する組織など、あらゆるレベルの公共政策の立案を支援する者	州メディケイド部長、国立保健情報技術コーディネーター事務所の代表者、全国都市保健当局者協会、州議会全国会議および全国郡協会の政策アナリスト
教育者	医療専門教育を提供する大学およびそれらに所属する個人	看護学校学部長、レジデントプログラム部長、継続的な医学教育の提供者





# 研究における市民参画に関する評価



市民参画の状況	市民参画活動が特定の成果を達成するのに成功事例を特定するのに役立つ場合がある。
市民参画の活動	望ましい研究結果の達成につながる市民参画の成功事例を特定するのに役立つ可能性がある。
市民参画の質	市民や研究者が市民参画についてどのように感じているか、進行中または将来の研究計画における市民や研究者の市民参画の改善点を特定するのに役立つ可能性がある。
市民の成果	医学研究に市民が参画することによる影響の範囲を説明するのに役立つ可能性があり、また医学研究における市民参画の成果を改善するための成功事例を提案できる可能性がある。
研究の成果	医学研究とその活用における取り組みの価値を実証するのに役立ち、また市民参画による研究の成果を改善するための成功事例を提案できる可能性がある。



# 研究における市民参画の質に関する評価

概念	説明
市民の多様性と代表性	選抜された市民は、市民の背景と視点の多様性(文化、言語、社会、人口統計、経済的またはその他の要因)とその意見の代表性を担保しているか？
市民参画前の能力と市民参画の準備	選抜された市民は、市民と研究者が積極的な研究を実施するための能力、市民参画に向けた研修を受けるなどの準備がどの程度整っているか？
契約前の信頼性	選抜された市民は、市民や研究者が積極的な研究に参加する前に、医療制度、研究機関、研究の実施に対してどの程度信頼しているか？
研究の特徴	選抜された市民は、市民参画が研究のテーマや研究のデザインなど、研究のプロセスや結果に影響を与える可能性のある側面を理解しているか？
市民参画のための資材	選抜された市民は、市民参画するために利用できる資材と研究への参画を促進するために組織レベルで利用できる資材はあるか？
社会歴史的背景	選抜された市民は、市民参画活動および/または結果に影響を与える可能性のあった研究の歴史的、社会的および政策的背景を理解しているか？
市民参画における障壁と促進	選抜された市民は、研究における市民参画を容易にする、または困難にする個人的・状況的・構造的側面を認識できているか？



# これまでの研究における市民参画



英国

NIHR | National Institute for Health and Care Research



米国

pcori | PATIENT-CENTERED OUTCOMES RESEARCH INSTITUTE

(4) 市民委員会構成員

(3) 研究評価員

(2) 研究審査員

(1) 研究広報大使



分担研究者



日本

がん対策推進基本計画

がん対策推進基本計画(第2期)平成24年6月閣議決定 ※抜粋

第4 分野別施策と個別目標 ▷ 6.がん研究 ▷ (取り組むべき施策)

社会でのがん研究推進全般に関する課題を解決するため、研究成果に対する透明性の高い評価制度を確立・維持するとともに、がん研究全般の実施状況とその成果を国民に積極的に公開することにより、がん研究に対する国民やがん患者の理解の深化を図り、がん患者が主体的に臨床研究に参画しやすい環境を整備する。

がん対策推進基本計画(第3期)平成29年10月閣議決定 ※抜粋

第2 分野別施策と個別目標 ▷ 4.これらを支える基盤の整備 ▷ (1)がん研究

(現状・課題)

治験、臨床試験に関する計画立案の段階から、研修を受けた患者が参画することによって、患者視点のアウトカムの提案や、患者のリクルートの適正化等をより高い精度で進めていくことの必要性が指摘されている。

(取り組むべき施策)

AMEDは、海外の研究体制と同様、我が国でも患者やがん経験者が研究のデザインや評価に参画できる体制を構築するため、平成30(2018)年度より、患者、がん経験者の参画によって、がん研究を推進するための取組を開始する。また、国は、研究の計画立案と評価に参画可能な患者を教育するためのプログラムの策定を開始する。



# これからの研究における市民参画



英国

NIHR | National Institute for Health and Care Research



米国

pcori | PATIENT-CENTERED OUTCOMES RESEARCH INSTITUTE

(4)市民委員会構成員

(3)研究評価員

(2)研究審査員

(1)研究広報大使



分担研究者



日本

## がん対策推進基本計画

がん対策推進基本計画(第4期)令和5年3月閣議決定 ※抜粋

第2 分野別施策と個別目標 ▷ 4.これらを支える基盤の整備 ▷ (5)患者・市民参画の推進

(現状・課題)

国民本位のがん対策を推進するためには、国や地方公共団体と、患者団体等の関係団体やがん患者を含めた国民が協力して、取組を進めていくことが必要である。また、その際には、多様な患者・市民が参画できる仕組みを整備するとともに、患者・市民参画に係る啓発・育成も併せて推進することが必要である。

(取り組むべき施策)

国及び都道府県は、国民本位のがん対策を推進するため、基本計画及び「都道府県がん対策推進計画」の策定過程について、性別、世代、がん種等を考慮し、多様ながん患者等のがん対策推進協議会及び都道府県協議会等への参画を推進する。また、諸外国の公募制、代表制等の事例も踏まえつつ、患者・市民参画の更なる推進に向けた仕組みを検討する。

国は、これまでがん研究分野で推進されてきた、がん患者及びがん経験者の参画の取組に係る知見について、患者・市民参画に関する研究成果も踏まえ、各分野への横展開を行う。

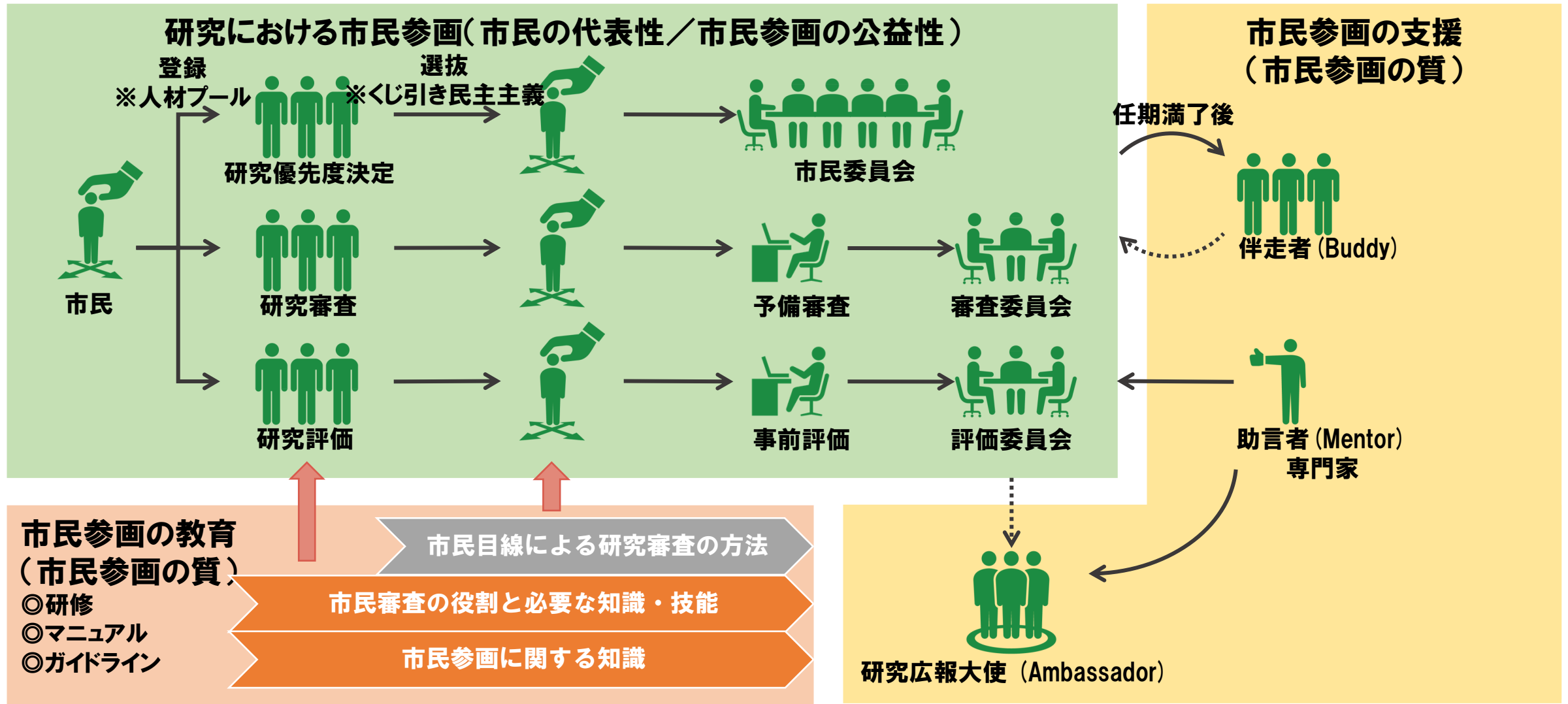
国は、患者・市民参画を推進するに当たって、参画する患者・市民への啓発・育成を行う。また、医療従事者や関係学会に対しても、患者・市民参画に係る十分な理解が得られるよう、啓発等に取り組む。

(個別目標)

がん患者とその家族等を含む国民が、がん対策の重要性を認識し、がん医療に関する正しい理解を得て、医療従事者とも連携しながら、がん対策に主体的に参画する社会を目指す。



# 《日本版》研究における市民参画





# くじ引き民主主義(ロトクラシー)

くじ引き民主主義とは(「くじ引き民主主義 政治にイノベーションを起こす」より)

地域の市民や住民、場合によっては国民から無作為抽出(母集団を代表するサンプル抽出)で代議員や委員を選び、特定の課題や目的を達成するにはどうしたらよいかを話し合い、その上で意思表示や決定をしてもらう仕組み

各国で広がるくじ引き民主主義

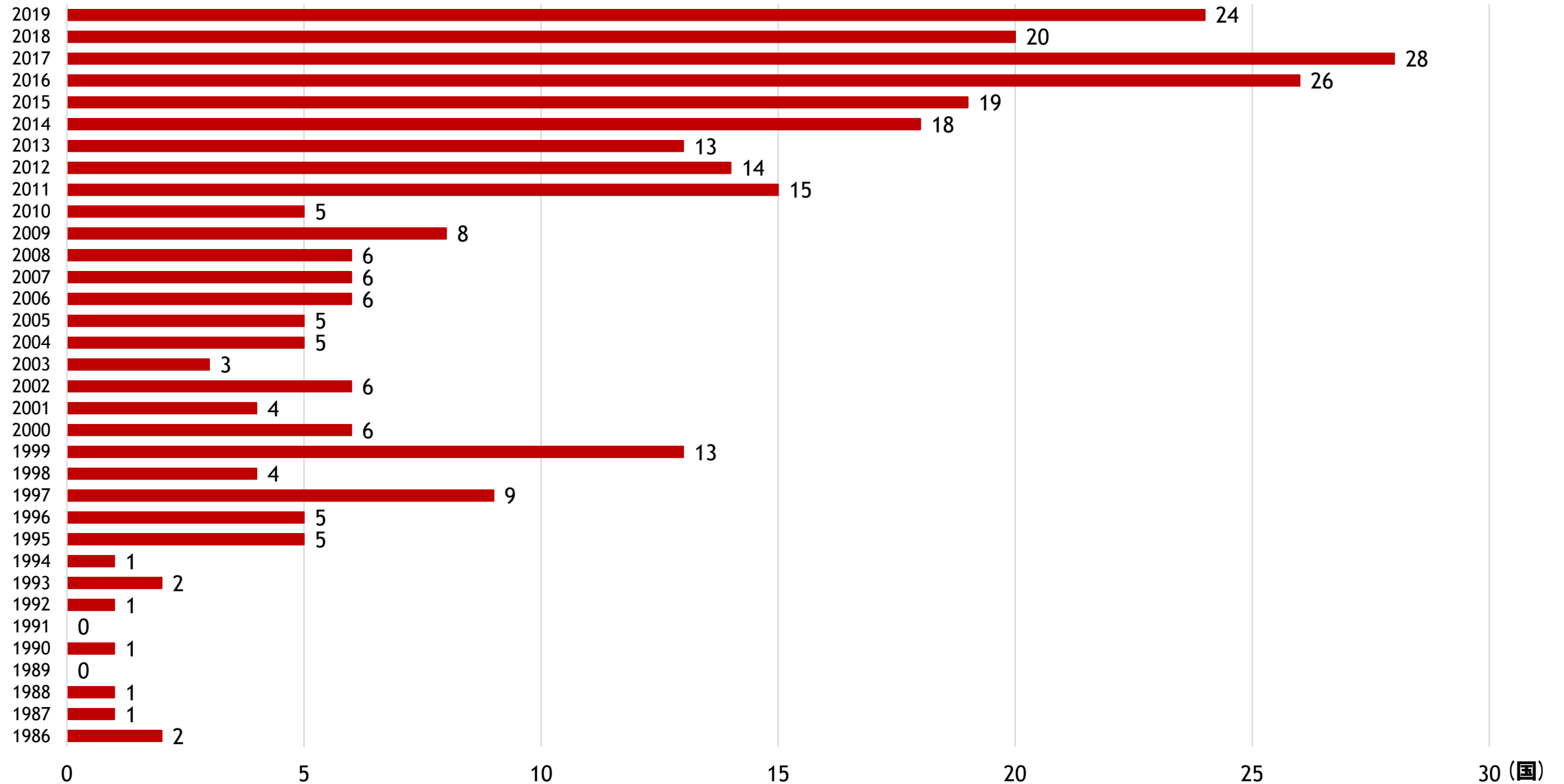
くじ引き民主主義を『代表制熟議プロセス』と呼び、一般市民の無作為抽出を代表とする様々な決定が、1986年から2019年までの間に289例あったと紹介 - OECD報告書『革新的な市民参加と新しい民主制度』(2020年)

代表制熟議プロセスの事例:

- 計画細胞(ドイツ)
- 気候市民会議(フランス)
- 憲法改正(アイルランド)
- 市民討議会(日本)

ポピュリズム政治はアウトサイダー的な政治家を頂点に押し上げ、トップダウンで政治の刷新を目指す運動であるが、くじ引き民主主義はボトムアップな民意形成による政治の刷新を試みる。

# 各国で広がるくじ引き民主主義



出典: OECD, Innovative Citizen Participation and New Democratic Institution, 2020

# くじ引き民主主義の種類

OECDは、様々なくじ引き民主主義を特徴に応じて4つの種類に分け、具体例を紹介

政策について熟議による 市民による決議・市民への諮問	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 市民会議(アイルランド、カナダ)</li><li>2. 市民パネル(オーストラリア、ベルギー、フランス、イギリス、アメリカ等)</li><li>3. コンセンサス会議(オーストラリア、デンマーク、フランス、ノルウェー、イギリス)</li><li>4. 計画細胞(ドイツ、日本)</li></ol>
政策についての市民の意見	<ol style="list-style-type: none"><li>1. G1000(ベルギー、オランダ、スペイン)</li><li>2. 市民評議会(オーストラリア、ドイツ)</li><li>3. 市民対話(各国)</li><li>4. 討論型世論調査(アルゼンチン、イタリア、日本、韓国、モンゴル等)</li><li>5. 世界規模意見(World Wide Views)(各国)</li></ol>
特定の政策・法律についての 市民の意見	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 市民イニシアティブ評価(アメリカ)</li></ol>
常設の諮問評議会	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 東ベルギーモデル(ベルギー)</li><li>2. 市民評議会(スペイン)</li></ol>



# 計画細胞(Planungszellen: PZ)@ドイツ

## 計画細胞とは

- ① 行政当局が企画・主宰
- ② 実際の会議は大学などの利害関係のない第三者への委託でもって実施
- ③ 参加する14歳以上の市民は、自治体住民から抽選で選ばれる
- ④ 母集団となる自治体の人口構成(男女比、年齢、職業など)を正確に反映するような参加集団(「ミニ・パブリックス = 小さな公衆)が作られる
- ⑤ 参加者には謝礼が支払われる
- ⑥ 参加者による小グループの討議が行われる
- ⑦ 報告書(「市民鑑定書」)を公表

## 計画細胞における市民による討議

- ① 問題に関する情報提供を受けた代表25人が5グループに分かれ、1日4コマ、4日間にわたり話し合いを行う
- ② 1コマは、専門家や当事者からの情報提供を20分、質疑応答に10分、話し合いに45分、結果発表に10分、是非を決定する投票に5分と、計90分が充てられる
- ③ その結果『市民鑑定書』が作成され、行政当局にはここで表明された市民の意思を尊重することが義務付けられている
- ④ ドイツのほとんどの州では、市民としての自己研鑽・研修のための有休休暇取得が可能
- ⑤ 無作為抽出のため、ドイツ語が話せない外国人や障害者が選ばれる可能性があり、通訳や介助者などが手当てされる場合がある

# 討論型世論調査

## 討論型世論調査とは(Deliberative Poll: DP)

討論型世論調査とは、通常の世界論調査とは異なり、1回限りの表面的な意見を調べる世界論調査だけではなく、討論のための資料や専門家から十分な情報提供を受け、小グループと全体会議でじっくりと討論した後に、再度、調査を行って意見や態度の変化を見る

討論型世論調査は、母集団を統計学的に代表するように参加者をサンプリングして選定するので、積極的な参加希望者だけではなく、投票にあまり参加しない若年層などを含むことができ、「社会の縮図」(microcosm)を構成することが可能。

また、討論型世論調査では、議題とする公共政策の諸問題について、専門家の知見などの情報が整理されて示されたうえで、討論を行う場が形成されるので、参加者は問題について表面的な理解ではなく、長期的な視点に立った十分に熟慮された意見を示すことができるようになることが、すでに、諸外国の実験結果からも明らかになっている

諸外国で行われた討論型世論調査で扱われたテーマは、さまざま治安と犯罪(1994年、英国)

- エネルギー政策(1996年から99年まで、米国テキサス州)
- 総選挙(1997年、英国、2004年、全米オンライン方式)
- 共和制移行をめぐる国民投票(1999年、オーストラリア)
- 国民健康保険制度(1998年、英国)
- ユーロへの通貨統合をめぐる国民投票(2000年、デンマーク)
- 地域経済(2002年、米国コネチカット州)
- イラク開戦(2003年、米国)



# くじ引き民主主義である条件

## 1 | 統計的代表的制

無作為抽出された市民は、母集団となる国民・住民の人口構成に近いサンプル(標本)にならないといけない

## 2 | 情報提供

プロセスに参加する人々に対し、事前に十分な情報が公平・客観性に提供されなければならない。事務局から事前に送付される資料を読み込み、専門家の意見を聴取するといった複数段階が用意されることが重要

## 3 | 市民による討議

情報・意見をもとに、熟議と討議が行われる。参加者が多い場合は分科会方式ないしラウンドテーブル方式が採用されるべきだし、その参加者を順次入れ替える

## 4 | 公開性と匿名性

民主主義において一般の人々も知らせるようにしておかなければならないのと同時に、その決定によって影響を被る人々からの圧力やメディアの一方的な報道から隔離する必要性を配慮する

## 5 | 目的

くじ引き民主主義で出された結論がどのように活かされるか、予め明確にしておく。自分たちの意見がどのように処理されるかによって、参加者の態度や必要な情報の種類も変わってくる

# 政策決定過程への市民参加の新しい手法

## これまで

### 公募方式

広報紙等で募集、住民からの応募によって決める方法

#### <特徴>

意識の高い人の声を聞くことができる一方で、利害関係者などが手を挙げ、参加者が特定の人に固定化する傾向

### 推薦・一本釣り方式

団体からの推薦や首長の一本釣りで決める方法

#### <特徴>

専門性の高い人や地域の有力者を選ぶことができる一方で、毎回団体の長を選ぶことによる形骸化や参加者の固定化などの課題あり

## これから

### 公募方式

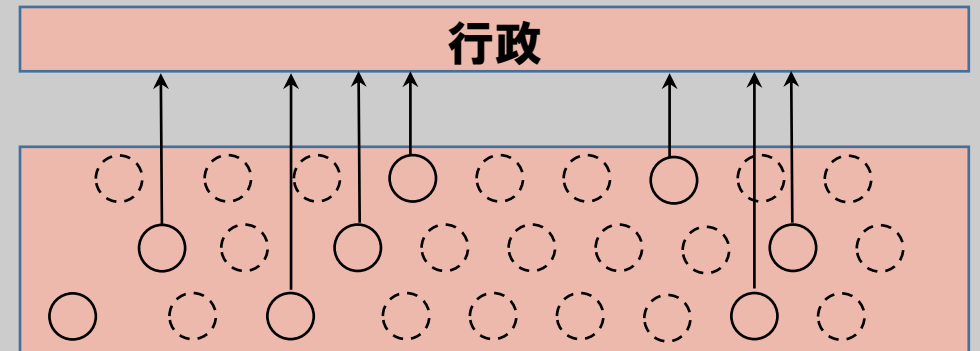
### 推薦・一本釣り方式

### 無作為抽出方式

無作為で抽出した市民に案内を送付し、その中の応募者が自分ごと化会議に参加する方法

#### <特徴>

社会や公共的なことに一定の関心がある人たちが参加



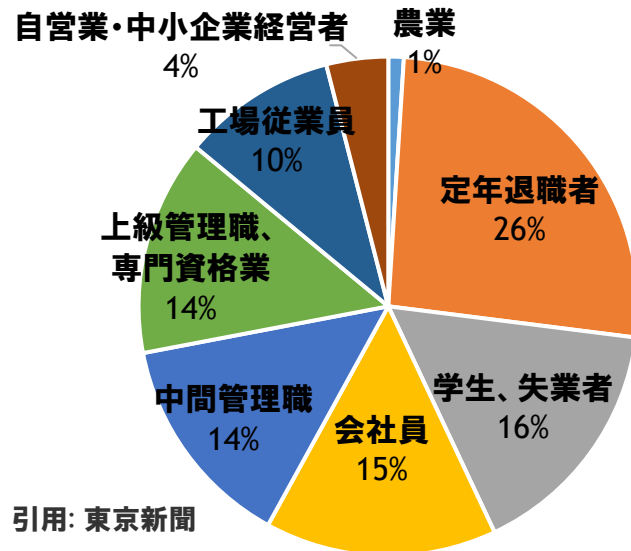


# 【事例1】気候市民会議(フランス)

- ① 気候変動対策としてフランス政府が掲げた燃料税引き上げ案への反発から2018年11月に始まった「黄色いベスト運動」の要望を受け、直接民主主義実現に向けてマクロン大統領が導入を決定
- ② 選挙人名簿などを基に職業や地域、年代ごとに男女比半々で無作為に選んだ25万人超に電話で趣旨を説明し、賛同者の中から150人が委員に選ばれる
- ③ 政府諮問機関の下部組織として2019年10月に発足し、9カ月の議論(7回の会合を開催)を経て環境問題に詳しくなった委員らは、2020年6月、政府に対し149施策を提案

短距離の航空便廃止や熱効率の悪い住宅の賃貸禁止、環境の大量破壊「エコサイド」の罰則化…。仏国会で審議中の法案は、昨年6月に市民会議から受けた149項目の提案をほぼすべて網羅している

気候市民会議150人の職業別構成



気候市民会議の提案と政府提案の主な違い

市民会議		政府法案
鉄道で4時間以内に移動できる都市への航空便の禁止	交通	鉄道で2時間半以内に移動できる都市への航空便の禁止
熱効率の悪い住宅の改修を大家に義務付け、違反者には罰金	住宅	熱効率の悪い住宅の賃貸を2028年から禁止
排出量の多い全業種のCM禁止	広告	化石燃料に関するCMのみ禁止
環境の大量破壊「エコサイド」を重罪に認定	罰則	故意性を証明できるエコサイドのみ軽罪に認定

引用: 東京新聞



## 【事例2】計画細胞を参考に市民参加制度の設置例(愛知県岩倉市)

愛知県岩倉市は、ドイツなどで取り入れられてる、市民参加の手法「プランクスツェレ(計画細胞)」をアレンジし、無作為抽出で選ばれた市民にまちづくりの課題などについて議論してもらい、そこで出された意見や提言をまとめ、行政の施策に活かしていくことを目的に、2016年に『市民参加条例』を制定、2018年に無作為抽出された『市民討議会』を設置

### 政策提案制度

- 個人的な意見や要望ではなく、豊かな知識と経験を持つ市民が、自発的または執行機関からの公募に応じて政策等の提案を執行機関に行うことで、市政に参加できる仕組み
- 政策提案を行う場合、10人以上の連署が必要。提案代表者は連署を作成し提案書を提出。なお、署名できる市民は個人であり、年齢は問わない

### 市民委員登録制度

- 市政に関心を持つ市民をあらかじめ登録しておき、登録された市民委員の中から審議会等の委員を選任しようという制度
- 登録の方法は2通り
  1. 登録申込書に記入の上、協働安全課市民協働グループ(市役所6階)に提出する方法
  2. 市民満足度調査等のアンケートに同封されている登録依頼のがきを返送する方法
- 登録期間は、およそ2年間(登録した日の翌々年度の6月末まで)

### 市民討議会

- 参加者は無作為抽出で選出
- 参加者には謝礼の支払い
- 討議の前に、専門家や行政担当から討議の基礎となる情報を提供することにより、基礎知識を持たない市民も討議に参加することを可能とする
- グループでの討議や投票





# 【事例3】市民討議会(岐阜県多治見市)

## 多治見市における市民討議会の特徴

- 参加者の無作為抽出 - 住民基本台帳から無作為抽出した市民に参加依頼書の送付
- 参加者の有償性 - 参加者には報酬を支給
- 専門家による情報提供 - 討議の前に、行政担当者などから現状等について情報を提供
- 参加者が討議・意見集約 - 参加者がグループ別討議により意見交換、意見集約・合意形成
- 討議結果のまとめ・公表 - 討議結果は市への提案書としてまとめ、その内容は、広報紙やホームページなどで公表

## たじみ市民討議会2019

とき	8月24日(土)、25日(日)
場所	多治見市役所駅北庁舎4階大ホール
大テーマ	住みやすいまち たじみ
中テーマ	明日の交通インフラ～さあ！みんなで考えよう

### 討議テーマ(スケジュール)

1. もし、車が使えなくなったら何に困りますか？また、どうしたらその困り事を解決できますか？(8月24日13時00分～)
2. どんなバスだったら乗りたくなりますか？(8月25日9時20分～)
3. どんな仕組みがあればあいのりタクシーに乗りたいと思いますか？(8月25日12時30分～)
4. 渋滞を無くしていくための仕組みづくりを考えてみましょう！(8月25日14時50分～)



出典:多治見市ホームページより





## 【事例4】市民参加による事業仕分け(千葉県市原市)

行政の事業の必要性ややり方を公開の場で外部の視点を入れて問い直すことで、硬直化した国や自治体の事業を再構築するための手法



### 千葉県市原市における事業仕分け(市民点検)

- ① 無作為抽出で選ばれた市民49名が参加(その他に点検経験者ならびに高校生を含めた計96名)
- ② 市の各部署が提示した36事業が仕分けの対象
- ③ レクチャーと討議を経た判定では、「廃止・凍結」0件、「要改善」18件、「継続」が18件となり、ここから2つの事業が廃止され、780万円の予算削減効果をもたらしたと報告

ポピュリズム政治はアウトサイダー的な政治家を頂点に押し上げ、トップダウンで政治の刷新を目指す運動であるが、くじ引き民主主義はボトムアップな民意形成による政治の刷新を試みる